

ひよし社協

日吉地区社会福祉協議会

第70号

発行日 令和7年9月1日
発行 会長 青 博 孝
編集 日吉地区社会福祉協議会
☎ 090-2733-0461
印刷 有限会社 創文社

活動の中で考える

日吉地区社会福祉協議会 副会長 山科 礼子



日吉宮前地区民児協の会長として日吉地区社協の副会長になり10年が経ちました。「地区社協って何？」と問われることが今もあります。読んで字のごとく、自分たちの住む地域の福祉課題に取り組み協議し地域住民、各団体とともに活動する組織ですと答えます。すると、「福祉って何？」と聞かれます。

新型コロナウイルス禍の中で何年間かの空白のあった一部の福祉団体は担い手作りが滞り活動も大きく様変わりをしています。福祉の担い手不足は深刻です。民生委員児童委員も例外ではありません。課題を抱えている人は増えています。情報も適切に判断支援してくれる専門機関も増えています。昨今の流行りのようにマッチングアプリに打ち込めばつながってくれるような仕組みはまだありません。タイプとかコスパとか今は簡略化・簡素化が良いとされる傾向にあります。変えてはいけないものの区別が付くのなら

無駄なものを変えていけば良いと思います。個々の意見、個人の生活が優先されるのも仕方ないことですが他人はどうでもいいというのでは違うと思います。誰でも気が付いた人が伝えてくれなければ課題や弱者は埋もれてしまいます。人によって幸福の感じ方は違います。自分だけでなく一人一人が普通に暮らせる幸福を求めるために皆で協力し合うことが「福祉」と私は思っています。

近年、多様性の世の中では色々なことに平等を訴えていますし関心も高いです。それならば人権や介護現場等、福祉の不平等にも関心を持つてほしいと思います。

最後に日吉地区社会福祉協議会は皆様からの賛同による賛助金と共同募金の配分金で活動団体の支援と協議会の事業活動をしています。ご不明な点は協議会にご連絡いただきたいと思います。どうぞ皆様のあたためたいご理解とご協力をお願いいたします。

就任のご挨拶

横浜市下田地域ケアプラザ



所長 前田 和隆



暑い日が続く、なかなか秋の気配を感じにくいこの頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。昨年10月より当ケアプラザの所長を拝命いたしました前田和隆と申します。どうぞよろしく願います。私が下田に着任してからこれ20年以上が経ちました。その間、ケアプラザの事業にボランティアで来てくれていた小学生は今や社会人となりました。子育てサロンに親子で参加してくれた当時0歳児だった子は小学生となり施設見学に来てくれたりと、ここに住んでいる方々の成長や変化を身近で感じさせてもらっています。

私が着任する前から日吉地区社会福祉協議会は連合町内会と共に「ふくしのまち日吉」を体現してこられました。介護保険制度が始まる前からのボランティア活動や民生委員さんらによるサロンなどの「身近な」支援から、港北区障

害者地域活動ホームしもだの地域交流バザーや健民祭など、「オール日吉」の取組みまで本様に様々な活動をされてきました。改めて「すごい地域だな」と感嘆しております。現在ではコロナ禍を経て、ふくふくプロジェクトを推進し、「多くの参加・交流」を促されていますね。

この「参加と交流」はケアプラザ活動の柱でもあります。日吉地区には、古くから住まわれている方も多くいますが、引越してこられる方も多くいらっしゃいます。現役時代は都内での仕事仲間との交流が中心で地域との接点が少ない方、引越してきて子育ての仲間をこれから見つけた方、そういった方々がケアプラザの事業に参加され、知り合いとなり、お互い気になり、支え合える。そんな小さなつながり作りをこれからもめざしてまいります。

ところで、下田地域ケアプラザは今年の8月で開所25周年を迎えました。下田小学校の児童に協力してもらい、とうとうイメージキャラクター「しもだん」も誕生しました。これからいろいろなイベントの際に「しもだん」が現れると思います。ぜひ可愛がってください。これからもどうぞよろしく願います。

ア・ラ・カ・ル・ト

架け橋プログラム研修会

—日吉南小学校—

先日(7月23日)、日吉南小学校にて「架け橋プログラム」の研修会を実施しました。今年度は「困り感」をテーマに、本校職員と、近隣の幼稚園・保育園の職員とが一緒になり、5歳児・小学校1年生までの「架け橋期」の子どもの育ちや学びについて、情報を共有しながら話し合いました。子どもたちが安心して小学校生活に移行できるよう、日々の様子や支援の工夫などを伝え合い、幼保小の連携の大切さを再確認する有意義な時間となりました。後日、いくつかの保育園を訪問し、子どもたちの園での様子を実際に見学させていただきました。



ふくふくスポーツフェスタ

オール日吉で楽しもう!!

日吉地区社協では、昨年度まで日吉地区全域で福祉拠点となる『ふくふくスタンプリー』を開催してきました。今年は連合町内会の『健民祭』と共催してスタンプリーとミニ運動会のコラボイベントを開催します。

- ・グラウンドはブーステント横丁エリアとミニ運動会トラックエリアがあるよ
- ・テント横丁ではお楽しみゲームや焼きそばなどの軽食も売っているよ
- ・テント横丁ではスタンプリーに参加しよう！賞品は何かかな？
- ・ミニ運動会には好きな競技に参加できるよ！
- ・消防車と一緒に写真も撮れる！

イベント終了時には大抽選会!!びつくりするような賞品が当たるかも!!?

11月9日(日)、みんなで日吉台中学校のグラウンドに集まりましょう!!

どなたでも参加OK!

2025 日吉ふくふくスポーツフェスタ

11月9日(日)

時間 10:00~15:00

会場 日吉台中学校

※雨天の場合、内容を変更して体育館で開催します。

スポーツ競技

参加して景品をゲットしよう!

パン食い競争	借り物競争	玉入れ	綱引き	障害物競争	走り方教室	徒競走
--------	-------	-----	-----	-------	-------	-----

台小6年 みんなで一緒ににこにこスポーツ

イベント

出展ブース・スタンプラリー

飲食・ゲーム・展示など、たくさんのブースを出展！スタンプを集めて景品をゲットしよう!

日大高校 チアリーディング部

港北消防団 消防車と消防士

ふくふく大抽選会

豪華賞品多数!

NINTENDO SWITCH 2 1名

BALMUDA トースター 1名

折りたたみ自転車 1名

ディズニーペアチケット	2名
お米2キロ	5名
マクドナルド 500円券	10名
ミスタードーナツ 500円券	10名
サンデーワン 500円券	10名
図書カード 500円券	10名

主催：日吉地区連合町内会・日吉地区社会福祉協議会
協力：日吉地区各種関係団体・日吉地区内小中学校

いきいきの会 三年目の活動

日吉本町西地区民児協 石川なおみ

『今日行く処』それは、『いきいきの会』
『今日の用事』それは、『いきいきの会』

高齢者を対象にした転倒・骨折・認知症予防教室「いきいきの会」は、大脳の活性化や体力維持を目指し月一回開催されています。ここ数年は参加者の高齢化と固定化、参加者の減少などが見られると共に行事内容のマンネリ化も気になってきました。そこで、内容の見直しと刷新、参加者の募集、現参加者へのフォローなどについて検討しました。特に新規参加者は今後の会運営にとっても重要です。

年度初めに合わせ、募集チラシの更新と声掛けPR活動、町内会との連携(掲示回覧板)を進め新メンバー5名を迎えスタートしました。読み書き、声を出し歌い、ヨガ体操で体を動かし、ポッチャ等のチームゲームでも盛り上がりまします。毎回、ワクワクした時を過ごせるよう活動していきたいと思っています。



下田町自治会健康教室

下田町自治会 保健衛生部 部長 高橋 美喜

下田地域の皆様の心身の健康を願って活動しています。主に勉強会、健康体操、測定会講習会(心肺蘇生法等)を行っています。

6月の勉強会の食物編では、沢山の参加者と細胞が老けない「究極の食事法等」を学びました。健康体操は、毎月第二火曜日に行っています。内容は、運動、歌、脳トレです。私は会社勤務当時、社員向けの健康体操を指導していました。そして20年以上続けている介護施設での仕事の経験を生かし、体力や年齢差のある方々でも、ケガなく満足できる運動を心がけ、下田公会堂で指導させていただいています。私も学ばずが多い脳トレ後のお茶会では、経験豊富な参加者のおはなしが聞けるので、毎回楽しみです。皆様と共にパワーをもらいながら、心身を見直すきっかけづくりのお手伝いができればと思っています。



健康麻雀でフレイル対策やっています!!

日吉地区民児協 板垣 文男

会場は日吉町公会堂ホールにて毎週火曜日、朝の9時に集合して手弁当でお昼を挟んで午後3時ごろまで順次解散で遊んでいます。くじ引きで4人のメンバー編成を決めます。20人の参加で5卓が出来上がります。くじ引きで外れた方は残念ですが半荘1回のお休みです。今や登録者は24人を超えて6卓を作ろうという勢いです。メンバーは日吉親和会(老人会)に属しているお爺さんお婆さん。平均年齢は85歳を超えました。親和会への加入はいつでもOKです。新型コロナウイルス感染症で休止した時期もありましたが5類を経て年々参加者が増殖(笑)して5卓を並べる勢いで「御託を並べるつて」歯に衣着せぬ言いたいことは言いたい放題、罵声を飛ばして和気あいあい楽しんでいます。公会堂に登って来れる筋力と脳の活性化、指先の運動と口腔ケアフレイル心配無用のお年寄り万歳です。



日吉地区社会福祉協議会の活動

イベントで地域防災力向上!

コンフォール南日吉自治会 副会長 藤田 豊

コンフォール南日吉は、管理戸数1,023戸の大規模団地で港北区内に7箇所ある広域避難場所のうちのひとつに指定されています。そんなコンフォール南日吉には様々な防災機能があり、皆さんが休憩に使っているベンチもそのひとつ。実はいざという時に「かまど」として使える特殊な構造になっているのです。数年前から開催している自治会主催のイベント「コンフォール南日吉スタンプラリー祭」では、毎年かまどベンチで焼きマシマロを作るブースを運営しており、機能点検と操作習熟を兼ねた楽しく、美味しい訓練として好評です。

このように、コンフォール南日吉自治会では、防災訓練以外のイベントでも防災の要素を取り入れるよう心がけています。楽しく地域の防災力を向上できるような活動を今後も考えていきます。



みやまえ夏まつり

日吉町宮前自治会 会長 井上 清一

盆踊り大会を主催していた「子ども会」がコロナ禍の影響もあり、休会となり5年間開催できませんでした。盆踊りに変わる子ども中心のイベントを実施しようと、自治会が主催となり、無料の綿菓子・景品付きビンゴ大会・百円の「輪投げ」等を企画しました。地元のパームスプリングスが、会場として駐車場を提供し、かき氷・焼きそば等の出店もしてくれました。

初めてのイベントですが、地域の防災隊などの各種団体に協力を依頼し、又、ボランティアの方も集まり開催に至りました。先着二百名のビンゴ大会用シートも、あつという間に配布!!行列ができるほどの「みやまえ夏まつり」となり大盛況で終わりました。ほんの2時間という短い時間でしたが、大勢の子ども達が集まり、盆踊りの太鼓はありませんが、夏休みの良い思い出になったかな!!来年も再チャレンジしようと思っています。



町会デビューで、いつのまにか社会福祉の場にも足を踏み出していた

箕輪町町内会副会長 高橋 進

居住するマンション管理組合の役員で町内会に関わるようになり、早20年になりました。当時は介護ヘルパーの仕事を始めたり、障がいを持つ方の車いすを押していたところ、防犯パトロールに誘われました。子育て経験がない私は、児童との付き合い方がわからぬまま見守り活動で旗を振り、戸惑いながらもパトロール参加をきっかけに箕輪町の人や街を知り、勉強になりました。

とくに区の社会福祉協議会から依頼されたガイドボランティアとして支援学校に通う高校生とのふれあいの3年間が忘れられません。更にふくふくスタンプラリーやケア委員会への参加で、少しずつ日吉地区社会福祉協議会の多岐にわたる役割を理解できるようになりました。今では行事に積極的に参加する体質となり、家庭や職場よりも外で声を掛けたり掛けられたりの多い楽しい毎日です。

日吉地区社協助成金事業

宮前交流カフェ(認知症支援カフェ)

宮前交流カフェは、月一回、参加費100円誰でも参加自由第2火曜日(8月と1月は第3火曜日) 10:00~プラージュ横浜日吉の多目的ホールを借りて開催内容は、月替わりで工夫された工作やゲーム、ミニ研修や講習など皆さんが楽しめるものです。最近材料費やお茶やお菓子などの値段が高くなり日吉地区社協の助成金もいただいています。参加費はできるだけ値上げしたくないので、とお話しくださいました。参加の皆さんの笑顔でオシャレしている姿を見ると嬉しくなります!家に引きこもっている方も暑さ対策してどんどん出て来てほしいですね。ここには暑さに負けないパワーがありました。



令和7年度港北区社協賛助会員募集

みなさまからの賛助会費は日吉地区社協の活動に役立っています。賛助会活動にご理解ご協力をお願いいたします。

今年度は8月1日~

賛助会費 102,000円

◎地区社協活動の財源となりますのでご協力ください。



編集後記

執筆依頼、そして大切な原稿の校正・発行等に携わる委員も、私は今号で無事卒業となりました。本紙が出来るだけ多くの皆様にお読みいただき、社協の活動を知って頂ける事を願っています。

(編集委員) ◎山科・足立・石井・石川・板垣・田中・河内・鈴木 ◎印は編集長